

第52回高分子夏季大学 プログラム
会期 平成18年7月26日(水)～28日(金)

古の湯に浸り未だ見ぬ高分子を語る
於：ホテル奥道後

7月26日(水)

総合講演	
15:00～16:00	総-1) 千年の釘をつくる 白鷹幸伯
16:10～17:10	総-2) 試験管でタンパク質をつくる (愛媛大学) 遠藤弥重大
ポスター・展示・ミキサー	ミキサー・ポスター発表・商品等展示
19:30～21:30	企業、大学、公的研究機関の交流の輪を広げ、基本的な考え方とニーズの出会いを作り出すために、ポスター発表を企画しました。 会期初日「ミキサー」の寛いだ雰囲気の中で、ご自身の新製品や技術開発に関して紹介し、意見交換を行っていただくことは、互いに多くの知己を得て、交流の実りをあげるために意義あることと確信します。

7月27日(木)

	A会場	B会場	C会場
分科会	進化する重合反応	新エネルギー電池	バイオ情報高分子
9:00～10:00	1) 高分子トポロジー化学：「かたち」からはじめる高分子設計 (東京工業大学) 手塚育志	1) 固体高分子形燃料電池の開発と解析技術 (旭硝子) 吉武 優	1) 化学の力で遺伝情報をコントロールする人工核酸 刺激応答性人工核酸の構築- (大阪大学) 和田健彦
10:10～11:10	2) リビング配位重合の新展開 (広島大学) 塩野 毅	2) ユビキタスパワーとしての有機ラジカル電池 (NEC) 久保佳実	2) シグナル分子応答性ゲルの設計合成 (関西大学) 宮田隆志
11:20～12:20	3) シクロオレフィンポリマー合成の現状と今後の展望 (日本ゼオン) 角替靖男	3) モバイル機器用小型燃料電池 (東芝) 五戸康広	3) 細胞・組織を特異的に標的するDDSベクター「バイオナノカプセル」の開発 (岡山大学) 妹尾昌治
エクスカージョン または自由討論 13:30～18:30	しまなみ海道・タオル美術館ほか		
懇親会 19:00～21:00	参加者・講師交流会		

7月28日(金)

	A会場	B会場	C会場
分科会	キラル高分子・超分子	明日のディスプレイ	ここまでのバイオマテリアル
9:00～10:00	4) シクロデキストリンを含むキラル超分子ポリマー (大阪大学) 原田 明	4) 有機ELディスプレイと高分子材料 (九州大学) 筒井哲夫	4) ナノインプリント技術のバイオ分野への応用 (日立製作所) 宮内昭浩
10:10～11:10	5) らせん高分子：一重らせんから二重らせんへ (名古屋大学) 八島栄次	5) 電子ペーパーの可能性 (富士ゼロックス) 津田大介	5) 再生医療と高分子 (京都大学) 岩田博夫
11:20～12:20	6) 三軸非対称分子のらせん集合と超分子キラリティ (大阪大学) 宮田幹二	6) TV用液晶ディスプレイの将来展望 (シャープ) 矢野耕三	6) バイオマテリアルが拓く医療 (金沢工業大学) 松田武久
分科会	ナノ構造制御による高分子材料の高性能化	光機能高分子材料	バイオベースポリマー
13:20～14:20	7) 高性能核剤開発による高分子材料の高性能化 (旭電化工業) 飛田悦男	7) ポリイミドゲルおよび薄膜の顕微光散乱と光学・光応答機能 (高輝度光科学研究センター) 堀江一之	7) バイオベースポリマーの分子設計と高性能化 (京都工芸繊維大学) 木村良晴
14:30～15:30	8) 超臨界歪み速度成形による高性能高分子材料開発 (広島大学) 渡辺香織	8) 感光性ポリイミド、ポリベンズオキサゾールの新展開 (東京工業大学) 上田 充	8) 自然と伝統に学ぶ修復材料 (名古屋大学) 武田邦彦